

所属 文学部 職名 教授

氏名 遠藤 不比人

< 研 修 概 要 >

連合王国首都ロンドンに所在する King's College London 英文科に Visiting Research Fellow として4月1日から8月31日まで滞在し、9月1日から3月31日までは University College London (UCL) に所属する Institute of Advanced Studies に Senior Visiting Research Fellow として滞在し、本長期研修における研究テーマである「英国モダニズムにおける「不可視なもの」の唯物論に関する政治学的考察——ワイルドからポスト印象派まで」に関する研究に専念した。

具体的な研究業績および活動としては、本研究テーマに関する英語論文 'Mystical Materialism: Roger Fry, Cubism, and Spiritualism' を脱稿し、執筆依頼者に6月1日に送信した。この論文は英国の学術出版社 Routledge から出版予定の英語論集への寄稿であったが、9月末に同依頼者から都合により出版予定が中止となったとの連絡があり、大いに失望しているところである。後述のように、この論文は加筆修正の上11月のUCLの所属研究所における定例のセミナーの基礎テキストとして使用した。

7月1日には、ANZ（オーストラリア・ニュージーランド）文学会から依頼された基調講演を日本語でZoomを通じて行った。この講演はニュージーランド出身の作家である Katherine Mansfield をめぐるものであり、この研修時の研究テーマから派生したモダニズム文学における「静物画的瞬間 a still life moment」という論点から、当該作家の文学言語における「ポスト印象主義」的要素を分析したものである。講演を活字化した論文を当協会のジャーナルへ寄稿することを依頼されたので、日本語の議論を元にした英語論文を執筆し担当者に送信した（英語化したのはロンドン大学の複数の同僚がこの議論に関心を示したからである）。その書誌情報は文末の業績表において示す。講演題目は「静物画的瞬間——キャサリン・マンスフィールドにおけるポスト印象主義について」である。

10月19日には、カナダの Lakehead University において 'Between Materialism and Spiritualism: Modern Art Reconsidered' と題された public lecture を行い、講演の主催者が同大学の哲学科であったゆえに、講演後の質疑応答は、研究テーマにおける哲学的な意義について非常に有意義な議論の発展を促した。

11月11日には、日本コンラッド協会において基調講演を行い、その後の質疑応答は、本研修のテーマと英国モダニズム文学との関連性についてさらなる発展した議論をもたらすことになった。講演題目は「記号論（資本）的流通と不可視（聴）なものの物質性——『ノストローモ』におけるポスト印象主義について」である。以下に示すように、これについても活字化は英語で行った。

11月15日には所属研究所の定例セミナーにおいて先述の論文を基礎資料として所属研究員との90分に及ぶ質疑応答を行い、当該テーマに関してさらなる議論の発展をもたらした。ちなみにこのセミナーの形式は、登壇者が講演原稿を読むという形ではなく、事前に論文を回覧し、当日はそれをめぐる質疑応答を徹底的に行うという形となる。

12月6日には、UCLのSonu Shamdasani教授が主催する連続セミナーにおいて、本長期研修のテーマとOscar Wildeとの関連について論じた講演を行った。題目は、‘Materialism of the Soul: Oscar Wilde’である。Shamdasani教授は、近代心理学とそれと密接に関連する心霊学研究に関する泰斗であり、当該テーマの歴史性について貴重なコメントを提供してくれた。

3月18日には、スペインの首都マドリッドに所在する大学 Universidad Nacional de Educación a Distancia において、17世紀スペイン絵画におけるバロック芸術に論及しながら、本研修の研究課題をめぐる講演を行った。題目は、‘Post-Impressionism and Psychical Research’である。これの関しても、主催者が当大学の哲学科であり、当該テーマの有する哲学的な意義について極めて有意義な議論をすることができた。

以下、本長期研修期間における当該テーマに関する業績一覧を示す。

講演：

- 1 「静物画的瞬間—キャサリン・マンスフィールドにおけるポスト印象主義について」 ANZ 文学会 (Zoom による)、2023 年 7 月 1 日。
- 2 ‘Between Materialism and Spiritualism: Modern Art Reconsidered’ The Lakehead University Department of Philosophy (対面)、2023 年 10 月 19 日。
- 3 「記号論 (資本) 的流通と不可視 (聴) なものの物質性—『ノストローモ』におけるポスト印象主義について」 (Zoom による) 2023 年 11 月 11 日。
- 4 ‘Materialism of the Soul: Oscar Wilde’ (体面)、Fortnightly Lecture Series organised by Professor Sonu Shamdasani、2023 年 12 月 6 日。
- 5 ‘Post-Impressionism and Psychical Research’ (体面)、Universidad Nacional de Educación a Distancia (体面)、2024 年 3 月 18 日。

論文：

- 1 ‘Still Life Moment: Katherine Mansfield and Post Impressionism’ *The Southern Hemisphere Review* 39 (Forthcoming): 19-37.
- 2 ‘Capitalist/Semiotic Circulation: *Nostramo* and Post-Impressionism’ *Conrad Studies* 15 (Forthcoming): 1-18.
- 3 「情動的唯物論—モダニズムにおける霊的なものの系譜」『現代思想』(特集:感情史) 51(15) (2023): 178-88.
- 4 「フロイトにおける情動—意味論と経済論の齟齬をめぐって」『「情動」論への招待—感情と情動のフロンティア』柿並良佑・難波阿丹編 (勁草書房、2024)

以上